

PTW

ポールトゥウィンホールディングス株式会社

2023年 1月期 決算説明資料

売上高 **39,929**百万円 (前年同期比 +16.6%)

営業利益 **2,724**百万円 (前年同期比 △16.3%)

親会社株主に帰属する
当期純利益 **795**百万円 (前年同期比 △64.2%)

- ・国内・海外ソリューションともバランスよく売上拡大し、過去最高売上高
- ・積極的な人材採用、働く環境整備(ITシステム、センター)により、営業利益減
- ・持分法損失、のれん減損、投資有価証券評価損848百万円計上により、親会社株主に帰属する当期純利益減

1	2023年1月期 通期連結決算概況	・・・ 4
2	2024年1月期 通期連結業績予想	・・・11
3	今後の事業戦略	・・・14
4	<参考> 会社概要・事業内容	・・・20

1	2023年1月期 通期連結決算概況	・・・ 4
2	2024年1月期 通期連結業績予想	・・・11
3	今後の事業戦略	・・・14
4	<参考> 会社概要・事業内容	・・・20

1-1. 2023年1月期 通期連結業績概況(1) ～前年同期比～

- ・国内・海外ソリューションともバランスよく売上拡大し、過去最高売上高
- ・積極的な人材採用、働く環境整備(ITシステム、センター)に関する費用が増加
- ・営業外費用、特別損失にて持分法損失、のれん減損、投資有価証券評価損を848百万円計上

単位:百万円(単位未満切捨)

	【当 期】 2023/1期 通期 (2022.2-2023.1)		【前 期】 2022/1期 通期 (2021.2-2022.1)		前 年 同 期 比	
	実 績	利 益 率	実 績	利 益 率	増 減	増 減 率
売 上 高	39,929	- %	34,252	- %	+5,676	+16.6%
営 業 利 益	2,724	6.8%	3,254	9.5%	△530	△16.3%
経 常 利 益	2,689	6.7%	3,331	9.7%	△642	△19.3%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	795	2.0%	2,219	6.5%	△1,424	△64.2%

(注)比率については表示単位未満を四捨五入

1-2. 2023年1月期 通期連結業績概況(2) ～予想比～

- ・海外ソリューションが牽引し、連結売上高はほぼ計画通り推移
- ・国内ソリューションでは、人材採用、働く環境整備を前倒しで進め計画下振れ
- ・メディア・コンテンツでは、案件後ろ倒し、消滅、M&A費用発生により計画下振れ

単位:百万円(単位未満切捨)

	【実績】 2023/1期 通期 (2022.2-2023.1)		【実績予想】 2023/1期 通期 (2022.2-2023.1)		予想比	
	実績	利益率	予想	利益率	差額	達成率
売上高	39,929	- %	40,088	- %	△159	99.6%
営業利益	2,724	6.8%	4,002	10.0%	△1,277	68.1%
経常利益	2,689	6.7%	3,926	9.8%	△1,237	68.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	795	2.0%	1,800	4.5%	△1,005	44.2%

(注)比率については表示単位未満を四捨五入

1-3. 2023年1月期 通期連結業績概況(3)～セグメント～

- ・当期より報告セグメントを「サービス・ライフサイクルソリューション事業」単一セグメントへ変更
- ・顧客の求めるサービスを全方位で提供し、国内・海外ソリューション連携でゲーム分野拡大
- ・Eコマース、Tech分野順調拡大、メディア・コンテンツは受注能力拡大、M&Aで費用先行

単位:百万円(単位未満切捨)

(旧)セグメント	(新)	業務区分 (売上構成比)	2023/1期 売上高	主要業務
ネットサポート事業	サービス・ライフサイクルソリューション事業	国内 ソリューション (64.0%)	<売上高> 25,560 <営業利益> 2,488	<Eコマース分野> モニタリング、カスタマーサポート
デバッグ、ローカライズ				<ゲーム分野> デバッグ、カスタマーサポート、ローカライズ、海外進出支援
検 証				<Tech分野> 第三者検証、環境構築、サーバー監視、データセンター運営、キッティング
デバッグ 検証事業		海外 ソリューション (29.3%)	<売上高> 11,712 <営業利益> 988	デバッグ、ローカライズ、音声収録、カスタマーサポート、製品開発サポート、グラフィック開発
海外		メディア・コンテンツ (6.7%)	<売上高> 2,655 <営業利益> △667	グラフィック開発、ゲームパブリッシング、アニメ制作、マーケティング支援、バリアフリー字幕・音声ガイド制作
メディア・コンテンツ				
その他				

(注)業務区分ごとの売上高、営業利益は、社内管理数値による参考情報です。このほか全社費用の発生があります。

1-4. 財政状況 連結貸借対照表

- ・センター開設、ITシステム取得により固定資産(建物構築物、器具備品、敷金保証金)増加
- ・借入金増加により流動負債増加
- ・有利子負債活用、自己株式取得により、資本効率改善へ取り組む

単位:百万円(単位未満切捨)

	2023/1期末	2022/1期末	増減額
流動資産合計	20,244	16,340	+3,904
（うち、現金及び預金）	11,192	9,735	+1,457
有形固定資産	1,547	890	+657
無形固定資産	2,871	3,224	△352
投資その他の資産	2,795	2,126	+669
固定資産合計	7,215	6,241	+973
資産合計	27,459	22,581	+4,877
流動負債合計	8,664	4,158	+4,505
固定負債合計	1,102	798	+303
負債合計	9,766	4,957	+4,809
純資産合計	17,693	17,624	+68
（うち、自己株式）	△703	△293	△410
負債・純資産合計	27,459	22,581	+4,877

1-5. 連結キャッシュ・フロー計算書

- ・投資キャッシュ・フローは、センター開設、ITシステム取得により、建物構築物、器具備品、敷金保証金支出やDX推進によるソフトウェア支出が増加
- ・財務キャッシュ・フローは、有利子負債活用による収入が増加

単位:百万円(単位未満切捨)

	2023/1期 (2022.2-2023.1)	2022/1期 (2021.2-2022.1)	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,920	1,844	+75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,563	△2,661	+98
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,011	△659	+2,671
現金及び現金同等物に係る換算差額	89	53	+35
現金及び現金同等物の増減額	1,457	△1,423	+2,880
現金及び現金同等物の期首残高	9,735	11,158	△1,423
現金及び現金同等物の期末残高	11,192	9,735	+1,457

1-6. 当社株式の状況

株式の状況(発行済株式総数)

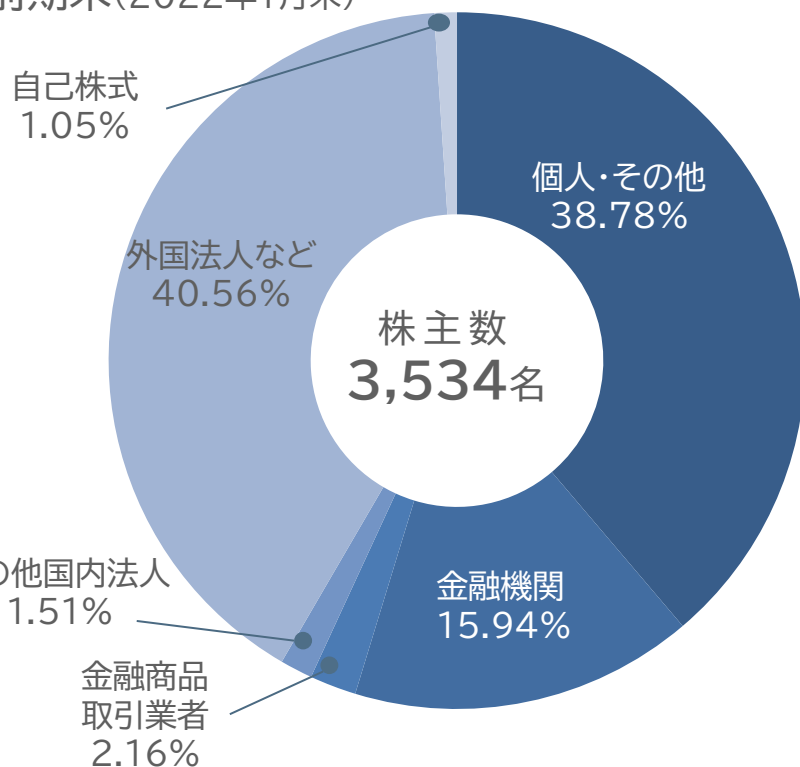
2022年1月末現在
38,156,000株



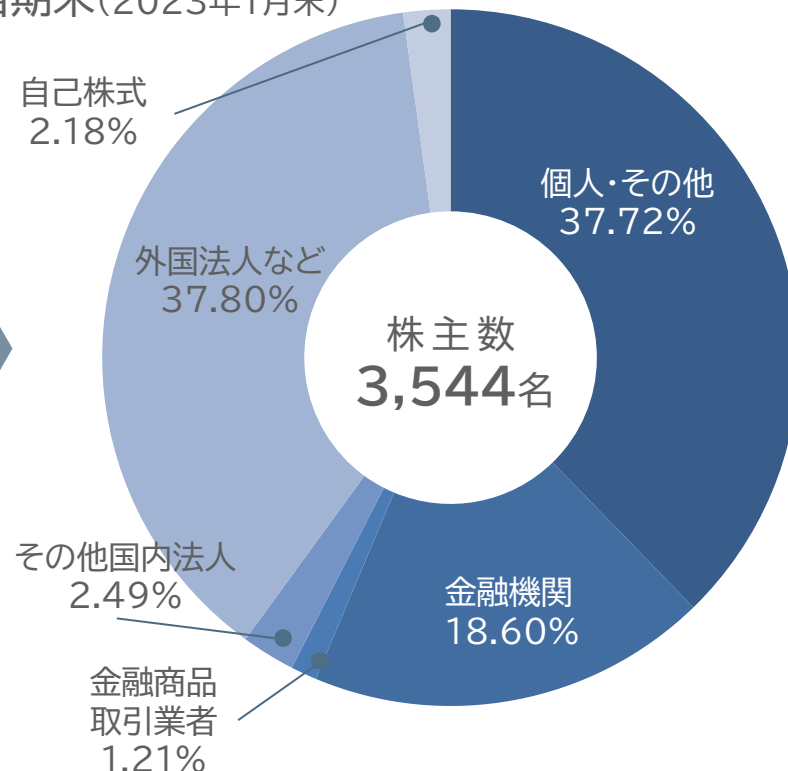
2023年1月末現在
38,156,000株

所有者別株式数比率の状況

前期末(2022年1月末)



当期末(2023年1月末)



(注)両グラフとも単元未満株式を除いた株式数に基づいて作成しております

1	2023年1月期 通期連結決算概況	・・・ 4
2	2024年1月期 通期連結業績予想	・・・11
3	今後の事業戦略	・・・14
4	<参考> 会社概要・事業内容	・・・20

2-1. 2024年1月期 通期連結業績予想

- ・各事業への成長投資(経営基盤強化、事業成長・拡大のためのM&A)を積極的に推進
- ・国内・海外ソリューション、メディア・コンテンツの連携をさらに強固にし、
全方位なソリューションを提供することで、事業拡大のサイクルを作り出す

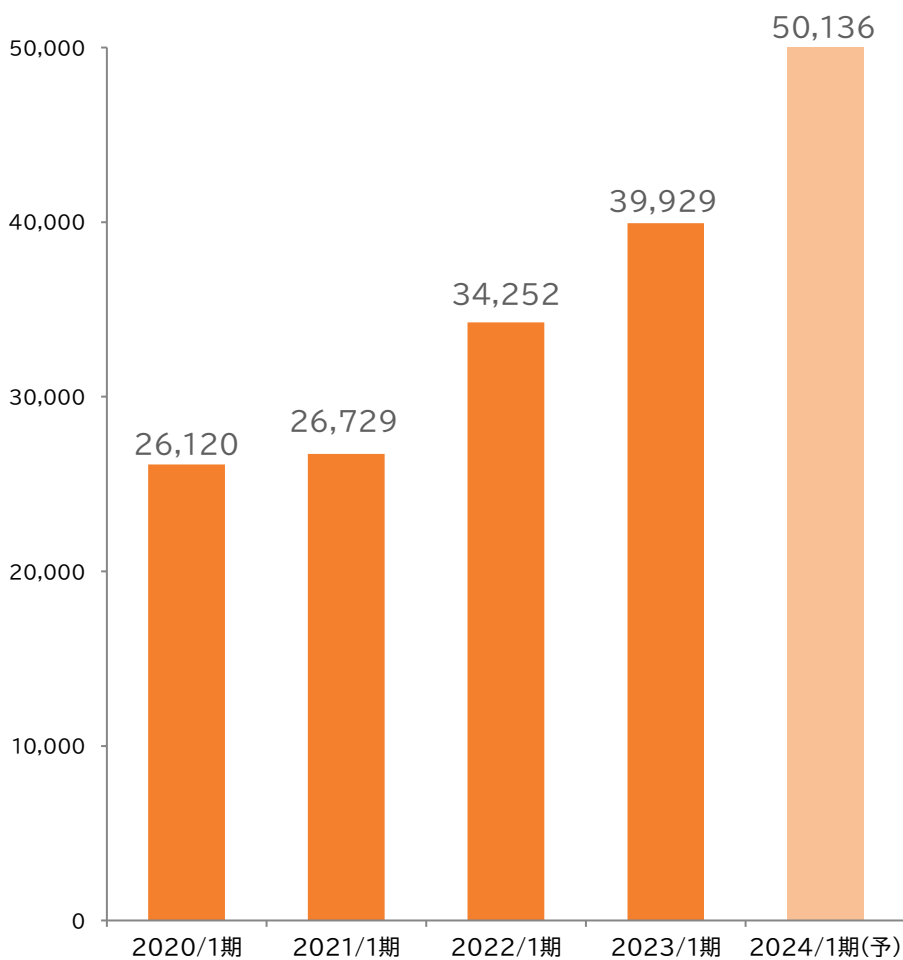
単位:百万円(単位未満切捨)

	2024/1期 通期予想	2023/1期 通期実績	前期比	
			増減額	増減率
売上高	50,136	39,929	+10,207	+25.6%
営業利益	3,174	2,724	+450	+16.5%
経常利益	3,177	2,689	+488	+18.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,952	795	+1,157	+145.6%
1株当たり当期純利益	52.72円	21.18円	+31.54円	—
1株当たり配当金	16円	15円	+1円	—

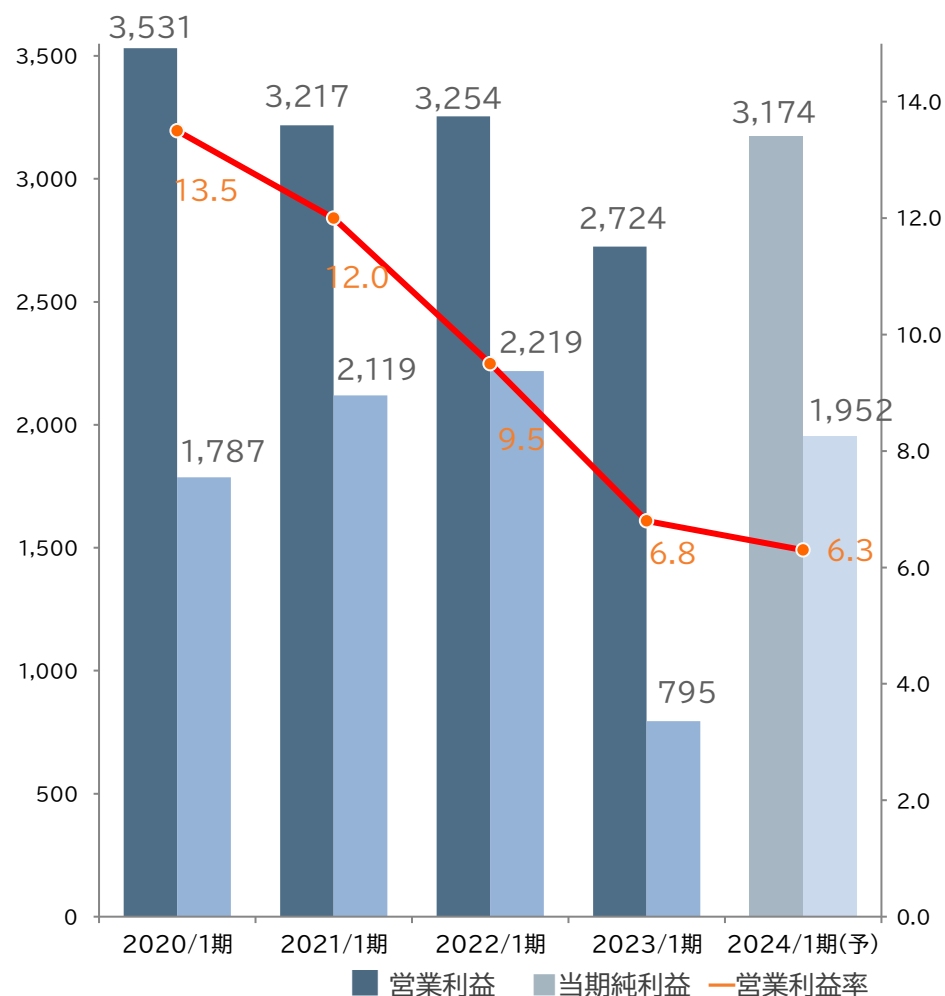
(注)比率については表示単位未満を四捨五入

2-2. 通期連結業績の推移、計画

売上高の推移



営業利益・当期純利益の推移



(注) 2024/1期は2023年3月14日公表の業績予想を参考情報として記載しております。

1	2023年1月期 通期連結決算概況	・・・ 4
2	2024年1月期 通期連結業績予想	・・・11
3	今後の事業戦略	・・・14
4	<参考> 会社概要・事業内容	・・・20

3-1. 資本政策への取り組み(1)

- ・負債と資本をバランスよく事業投下、継続的な成長投資を優先
- ・配当性向25%を目安とし、機動的な自己株式取得を実施

資本政策の考え方

- ・2022年1月期まで自己資本比率、ネットキャッシュが高めに推移
- ・2023年1月期は有利子負債の活用、自己株式取得により、
自己資本比率78.0%→64.4%、ネットキャッシュ9,435百万円→7,321百万円へ低下
- ・継続してROE向上・株主還元に取り組み、企業価値向上を図る

成長投資の方向性

営業キャッシュ・フローを創出しながら、負債と資本をバランスよく事業投下

- ・経営基盤強化・・・人材獲得、DX推進、働く環境整備



ポールトゥウィン名古屋センター
2022年9月開設



ポールトゥウィン京都センター
2022年12月開設



ポールトゥウィン秋葉原センター
2023年3月開設

- ・事業成長、拡大のためのM&A・・・国内・海外ソリューションの成長、メディア・コンテンツの拡大



SANETTY Produce
2022年11月子会社化



アクアプラス
2022年12月子会社化

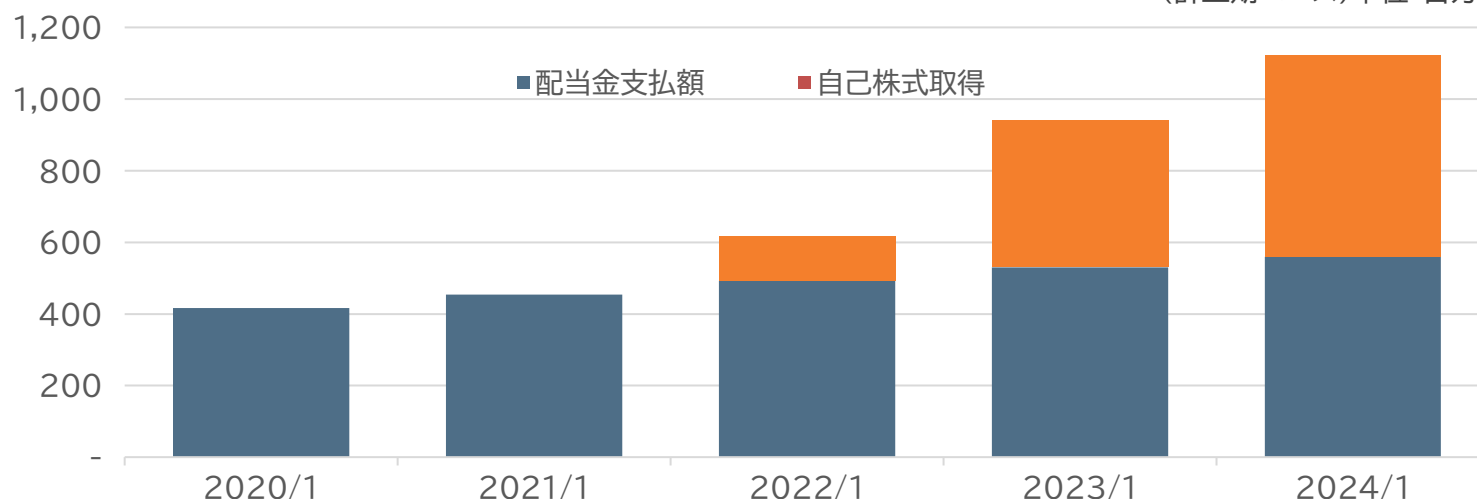
3-2. 資本政策への取り組み(2)

株主還元の方針

継続的な成長投資を優先

- ・配当性向25%を目安とし、機動的な自己株式取得によりEPS、ROEの向上を図る
- ・2023年1月期は938百万円の還元実施、2024年1月期は1,122百万円の還元見込み

(計上期ベース)単位:百万円



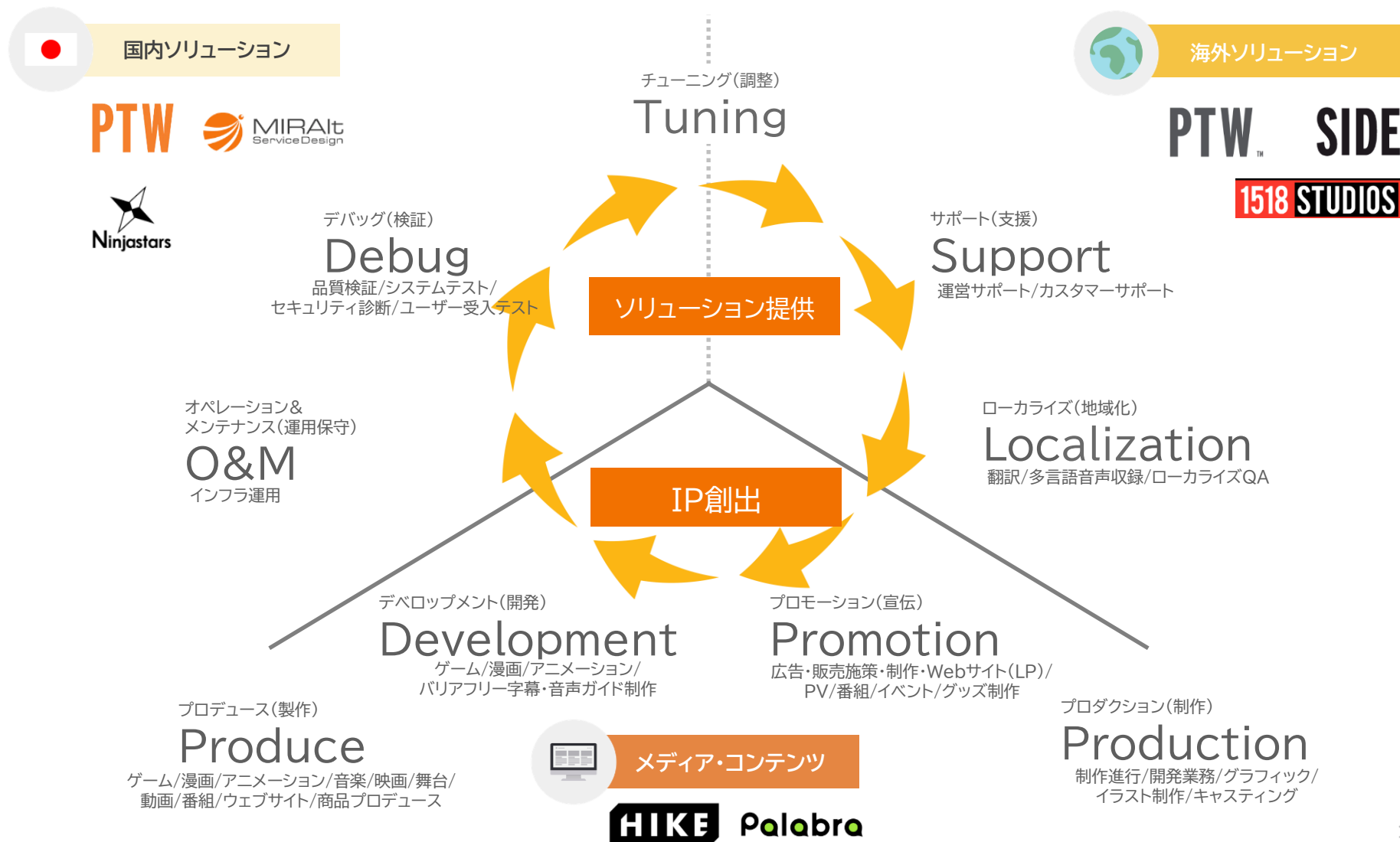
配当金支払額	416	454	492	528	559
自己株式取得	—	—	125	410	563
合計	416	454	617	938	1,122
総還元性向	23.3%	21.4%	27.8%	118.0%	57.5%
1株当たり配当額(円)	12	13	14	15	16
配当性向	25.4%	23.2%	23.9%	70.8%	30.3%

(注) 上記2024/1はイメージであり、上記の通りに推移することを約束するものではありません

(注) 上記1株当たり配当額、配当性向は決議期ベースで記載しております。

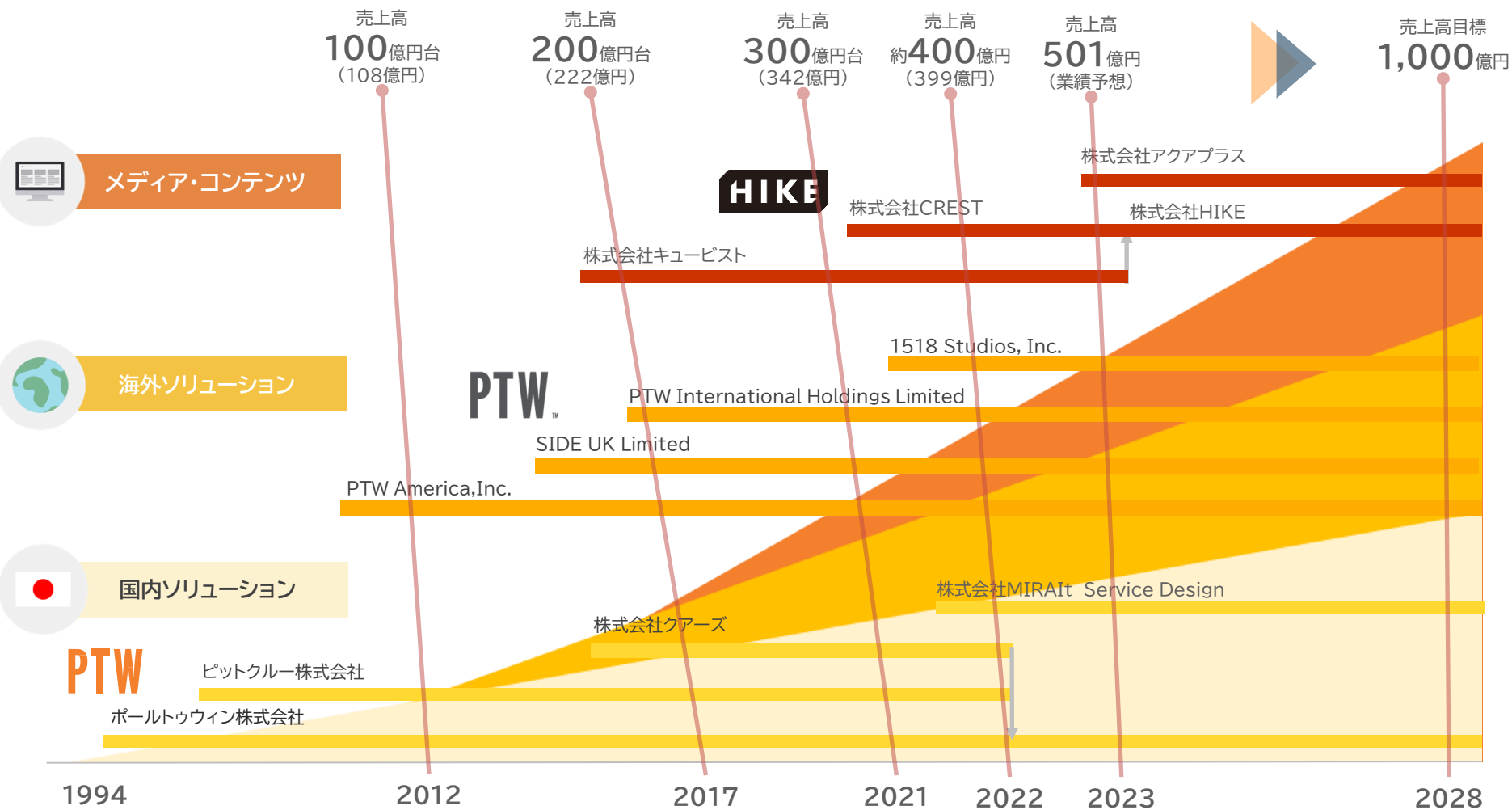
3-3. 当社グループの事業の特徴

- ・サービス・ライフサイクルソリューション＝顧客が求めるサービスを全方位で提供
- ・主力事業、新規事業への両軸投資が事業拡大サークルを作り、成長加速させる



3-4. 当社グループの成長イメージ

・国内・海外ソリューションは主力事業として着実に成長させ、
メディア・コンテンツを新規事業として拡大する



(注) 上記は主要会社の沿革であり、すべてのグループ会社を記載しておりません。

(注) 上記の連結売上高のグラフはイメージであり、上記の通りに推移することを約束するものではありません。

3-5. M&Aの活用

- ・主力事業の着実な成長、新規事業の拡大のためにM&Aを積極的に活用
- ・引き続き、当社グループの事業拡大サークルに適合するM&Aを推進

業務区分	これまでの主なM&A					
国内 ソリューション	 2012年7月	 2012年9月	 2018年3月	 2021年7月	 2022年1月	
海外 ソリューション	 2012年10月	 2015年8月	 2016年3月	 2019年12月	 2021年1月	 2021年8月
メディア・ コンテンツ	 2010年3月	 2015年1月	 2019年3月	 2019年11月	 2020年10月	 2021年8月  2022年11月  2022年12月

1	2023年1月期 通期連結決算概況	・・・ 4
2	2024年1月期 通期連結業績予想	・・・11
3	今後の事業戦略	・・・14
4	<参考> 会社概要・事業内容	・・・20

4-1. 会社概要

(2023年1月31日現在)

会社名	ポールトゥウィンホールディングス株式会社		
代表者名	代表取締役会長 橘 民義 代表取締役社長 橘 鉄平		
本社所在地	東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル		
設立	2009年2月2日		
資本金	12億3,906万円		
上場市場/コード	東京証券取引所プライム市場（証券コード:3657 銘柄略称:ポールHD）		
事業内容	当社及び連結子会社38社で構成されるグループ全体の事業活動の支配・管理及びこれに付帯または関連する業務		
	【当社グループの主な事業】 サービス・ライフサイクルソリューション事業 ・国内ソリューション ・海外ソリューション ・メディア・コンテンツ		
連結業績	売上高	：	399億2,925万円
	経常利益	：	26億8,911万円
	当期純利益	：	7億9,511万円
		連結従業員数	7,287人 (内正社員数2,998人)

4-2. 企業スローガン



人とテクノロジーを融合して
お客様の課題を解決する

Seize The New

企業スローガンに掲げた「Seize The New」は、「seize the day(今を楽しむ)」という西洋のことわざをベースにしており、「考え続けることで未来を切り開いていこう」というメッセージを込めています。

我々を取り巻くワールドワイドな市場状況は常に変化し続けております。思考を止めることなく可能性を広げ、取りうる選択肢のなかから 最善の決断をしながら新たな挑戦をしてまいります。

4-3. グループの構成(連結子会社38社)

(2023年1月31日現在)

ポールトゥウィンホールディングス 株式会社



国内ソリューション

ポールトゥウィン 株式会社

株式会社 MSDホールディングス
株式会社 MIRAI Service Design
株式会社 Ninjastars

PTWジャパン 株式会社

株式会社 デルファイサウンド



海外ソリューション

PTW International Holdings Limited

PTW Shanghai Co., Ltd.
PTW America, Inc.
PTW International UK Limited
PTWI India Private Limited
PTW (Singapore) Pte. Ltd.
PTW Korea Co., Ltd.
SIDE UK Limited
PTW Romania SRL
PTW International (Malaysia) Sdn. Bhd.
SIDE LA, LLC
PTW Canada Solutions, Inc.
1518 Studios, Inc.
OneXP LLC
OneXP UK Limited
1518 Studios Rus LLC
SIDE France SAS
PTW New Zealand Limited
PTW Brazil LTDA
PTWI Mexico, S. de R.L. de C.V.
PTWI Poland LLC
POLE TO WIN VIET NAM JOINT STOCK COMPANY



メディア・コンテンツ

株式会社 キュービスト

Panda Graphics TAIWAN INC.
Panda Graphics(Shanghai) Technology Co., Ltd.

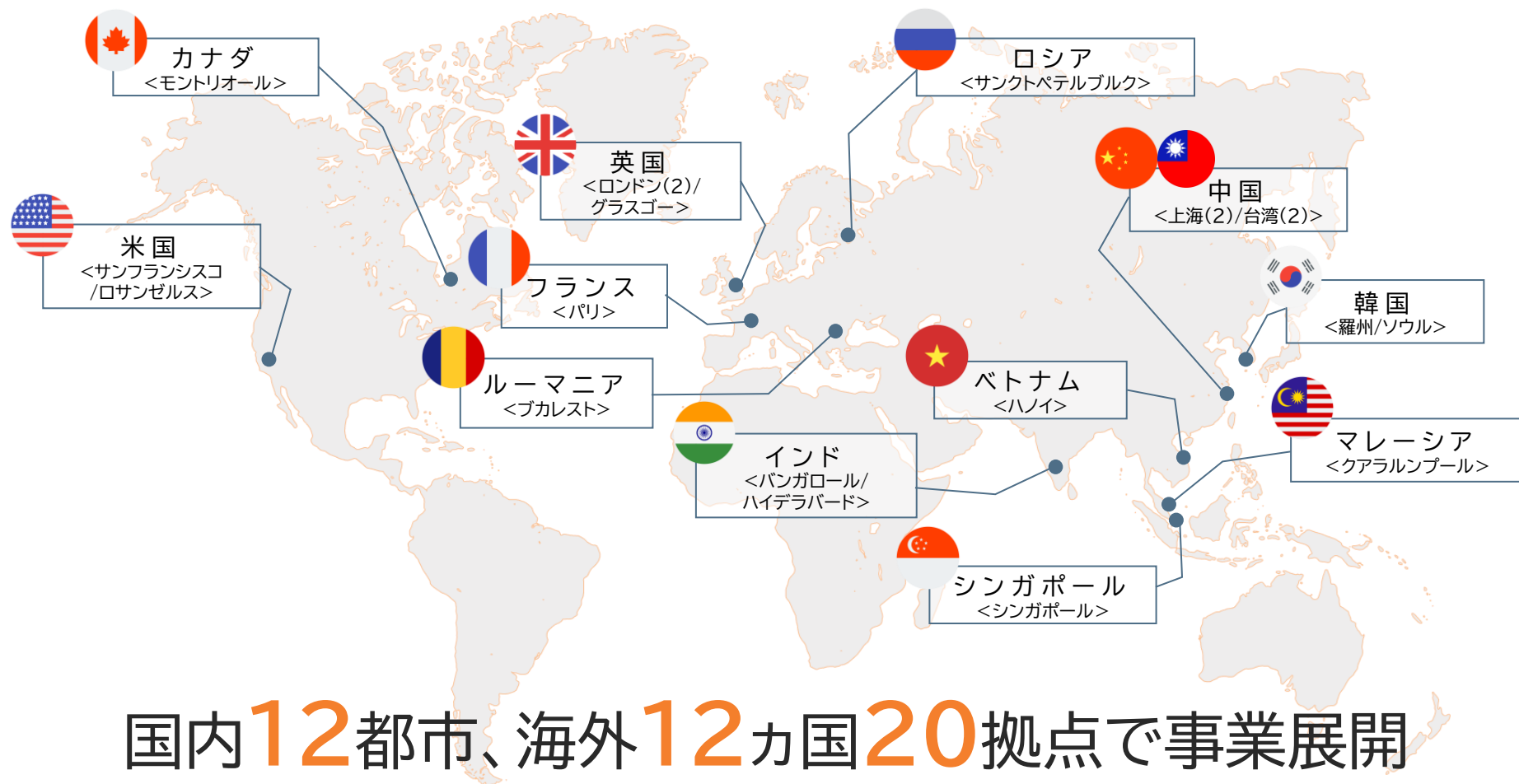
株式会社 CREST

株式会社 CREST JOB
CREST company Inc
株式会社 SANETTY Produce
株式会社 アクアプラス
株式会社 フィックスレコード

Palabra 株式会社

4-4. 事業拠点

(2023年1月31日現在)



国内拠点：札幌 / 八戸 / 仙台 / 新潟 / 東京 / 甲府 / 名古屋 / 岐阜 / 京都 / 大阪 / 北九州 / 博多

(注)登記のみしている国、拠点を除く

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。